

# 坂の上通信

令和三年十一月十八日  
広島市立美鈴が丘高等学校  
新聞文化部(四〇三演習室)

## 増加じわり食堂利用

### 感染者数減少の影響か

黙食指導は続いているが、昼休憩が以前の活気を取り戻しつつあり、食堂にも大勢の生徒が訪れている。食堂の方にお話をうかがった。

新型コロナウイルスの新規感染者の減少の影響か、食堂で働



長い列が出来る昼休みの食堂

### 学校の「顔」に インタビュ―



今回は進路指導主事の沖森先生(国語科)にお話を伺った。なせ教員になったのですか。大学は教育学部ではなく文学部で、当時は

マスコミ系で就職活動をしていましたが、よくリクリエイティブな仕事をしたいと思ひ、教員を目指しました。趣味は何ですか。テニスをやったり、

ピアノやギターを弾いたりしています。休日の過ごし方は。家族と過ごすことが多いですが、たまに家族に内緒でテニスをやりたりしています(笑)。美高生に一言。世の中には学ぶものがたくさんあります。広い視野をもって過しててください。



食堂人気メニューの一部。上からとりまヨ井、鶏の唐揚げ、おむすび。全てテイクアウトが可能。



く藤井さんにお話をうかがったところ、黙食指導が始まった頃は食堂の利用者が目に見えて減り、昼食の様子も緊張感があつたという。しかし11月現在、再び多くの人で賑わうようになり、長い行列ができるようになった。売り上げは5〜6月頃に比して、10月は約1.5倍になっている。

藤井さんは「衛生面を第一に考えて作っています。手洗いがいは欠かさず、特に生ものは気を付けて扱っています」と語った。

感染対策として、アクリル板や消毒液はこれまで通り設置されている。一方で、実際に食堂を利用する生徒からは「人が多く、間隔

も空いていないので密が怖い。消毒をしていない人も見られる」と不安の声も聞かれた。安心して利用できる空間を維持するため、ソーシャルディスタンスや黙食など、一人ひとりの意識の向上が求められている。

88年の美高開校当初から、共に歴史を歩んできた食堂。その魅力の一つは、その場で調理をし温かい食事を提供していることだ。冷凍食品を解凍するのではなく、唐揚げなどもその場で揚げ、カレーもじっくりと煮込んでいる。これは家庭の味を再現するため、美高生に温もりのある味を提供したいという強い思いがあるからだそう。

藤井さんは「普段は家からお弁当を持参する人も、ぜひ一度利用してみてください。食堂のファンになってくれたらうれしいです」と笑顔で話した。

### 食堂の魅力は「その場で調理」

利用マナーに注意を

### 生活環境部 吉山先生の話



食堂利用が増えている一方、利用マナーやテイクアウトをした際のゴミ問題が浮き彫りになってきている。生活環境部の吉山先生にお話を伺った。

完全に終息したわけではありませんが、食事場の指定や黙食ルールは今まで通りです。あと最近気になるのは、休憩時間に食堂に買いに行つて授業に遅れたり、食歩きをしてる生徒がいることです。さらにゴミが講義室に放置してあったりということも聞いています。ほとんどの人はマナーを守っていますが、改めて周囲の人が不快に思わない行動を求めたいですね」

11月13日(土)午前中に、さわやかハイスクール地域清掃が行われた。清掃範囲はパークハイム辺りから美鈴が丘中央公園の辺りまで。参加者数は264名で、多くの生徒が今回のボランティアに参加した。ゴミの多くは清落ち葉や枯れ草で、土嚢袋に集められ、後に業者が回収する。参加した生徒は「普段登下校で使っている道をきれいにできて良かった」と話した。

アーティスト	ヘンデル
曲名	ハレルヤ・コーラス

### 歌は世につれ



歌は世につれ世は歌につれ。歌は、時代のアルバムです。このコーナーでは、先生方の青春時代の思い出の一曲を、当時のエピソードとともに紹介していただきます。今回は、数学科の末

三は参加を強要されるわけでもないのに代々「ハレルヤ」を歌っていました。受験勉強の合間に生徒だけで練習を重ね、仕上がったところで音楽の先生に指導をお願いし、本番を終えました。そして迎えた卒業式。式終了後、校庭に先生方を迎え最後の「ハレルヤ」。150名の仲間との日々が走馬灯のように巡った合唱でした。

### 美・鈴・鈴・鈴

今回取材した食堂に関するコラムを書くにあたり、高校・大学に多く設置されている学生食堂(以下学食)について調査した。学食と言え、安価でボリュームのある食事をイメージする。一人暮らしも少なくない大学生にとっては、ありがたい存在である。しかし、その背景には深刻な問題も抱えているという。▼全国の多くの学食では、人件費や原材料費の高騰が原因となつて、運営の苦境を訴える声が多く出ている。さらに、夏休みや冬休みなどの長期休暇はそのまま閉歇期となり、これも大きな障壁となつているそう。

▼学生にとつて、一息つける学食は大切な時間である。現在は黙食が奨励されており、会話をしながらの食事は禁止されているが、いずれば友人と学食でくつろぎながら一緒に食事をする日も来るだろう。▼新メニューの発売など、学食に期待したいことも多いが、私たちも「食べて応援」することで活気ある学食が維持できるのではないだろうか。(川崎壮一郎)

### 編集後記

たまには食堂で温かい昼食もいじりますよ。



部で清掃に取り組む